

## 年 度 評 価 シ ー ト

課名 子ども未来課

施設の名称 蒲原子育て支援センター	指定管理者名 特定非営利活動法人 子育て支援どろん子
<p>1 履行状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月11日から5月31日まで休館となったが、年間を通して協定書（仕様書）及び事業計画書に従って、適切に履行されている。</p> <p>（1）維持管理業務 施設内の衛生管理・清掃業務や設備の日常点検等、仕様書に沿って適切な施設管理、良好な環境整備が行われている。</p> <p>（2）施設利用者数 乳幼児とその保護者を対象とした子育て交流サロンの利用者数は 3,964 人（前年 6,910 人） 就学児を対象とした児童交流サロンの利用者数は 167 人（前年度 463 人） 全体の利用者数は 4,131 人（前年度 7,373 人）、相談件数は 550 件（前年 636 件）と減少している。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月11日から5月31日まで休館とし、再開後も利用人数及び利用時間を制限したことから、利用者数は前年度よりも減少している。</p> <p>（3）事業実施状況 子育てに関する交流事業、相談事業、情報の収集や提供などについて、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業計画のうち中止したものもあったが、開催方法を変更して実施する等、事業計画に従って適切に行われている。地域との交流活動も積極的に行われ、近隣学校との交流も盛んである。また、児童館との共催事業や保健福祉センターとの連携等を通じて、地域の子育て支援拠点としての役割を果たしている。 また、子育て及び子育て支援に関する講座等については70回以上実施している。 さらに、地域のこども園、幼稚園、小学校、児童館、民生主任児童委員、保健福祉センター等との連携を深めるための「蒲原由比地区子育て支援連絡会」を開催している。 子育て相談事業については、相談550件（前年度636件）であった。生活や発達に関する内容をはじめとして、医学的問題、家庭内の問題など悩みが多様化しているなかで、職員がそれぞれの親子に寄り添い、丁寧に相談業務へ取り組んだ結果があらわれている。</p> <p>（主な事業） 子育てサロン（教育相談会、保健師さんの話、おやこ体操など）、おはなしの会、ママタイム、ベビーズなど</p> <p>（4）職員配置状況、職員研修等</p>	

仕様書に基づき、常時2名の育児、保育に関する相談指導等について相当の知識及び経験を有するものを配置し、そのうち1名は施設長として配置している。

また、職員の積極的な研修への参加により、質の高い子育て支援センターの運営に努めている。

参加した主な研修は以下のとおり

子育て支援センター職員研修会、蒲原由比地域子育て支援連絡会研修会等

## 2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

特にクレーム等はなかった。多様化する相談内容に適切に対応するため、定期的なミーティングによりアドバイス方法等を検討し、必要とされるサポートの提供に努めている。

## 3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

利用者満足度調査では、①施設の整備②おもちゃ等の遊び環境③行事・イベント④職員の対応のすべての調査項目で「非常に満足」「それなりに満足」と答えた人が100%という結果であり、ほとんどの利用者に対し満足のいくサービスを提供していることがわかる。また、どの項目も「やや不満」「不満」と回答した人は一人もいなかった。

自由記載欄では「スタッフの対応が丁寧」「声をかけてもらい不安が和らいだ」「清潔感があり安全に遊べる」といった声があり、不安を感じている親にとって大きな存在となっていると考えられる。

また蒲原子育て支援センターを利用する理由・目的を問う項目では、回答が割れすべての回答項目に回答があるなど、子育てのあらゆる面で必要とされていることが分かった。

## 4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については概ね適切な経理状況である。

今後も効率的な運営に留意し、より充実した事業実施に向けての予算執行をされたい。

## 5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務自己発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

全体的に良好な地域子育て支援拠点事業の提供が行われている。

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したことで目標値（年間利用者数9,500人）に届かなかったが、コロナ禍で人との交流が減っている中で子育てをする親子への丁寧な支援が行われており、利用満足度調査では非常に高い利用者満足度を得ていることから、業務は適正に実施できている。

業務においては、コロナ対策として利用時間や人数制限、施設内の消毒等を実施している。予定していた講座の内容を変更して実施したり、コロナ禍での生活にストレスや不安を感じる親子への精神的な支援について職員研修を行い利用者への支援につなげたりする等、コロナ禍を踏まえた手法を検討し、業務を実施しており、指定管理者の創意工夫が見られた。

利用者数、相談件数は減少しているが、利用者満足度調査からも分かるように、良好な子育て支援拠点事業の提供が行われている。

他の子育て支援センターと比較しても地域とのつながりが強く、その強みを活かした

事業運営が行われている。地域の特性上、利用者を大幅に増やすことは難しい状況にあるかと思われるが、今後も利用者の意見等を踏まえつつ、地域のニーズをとらえ、地域に根差した子育て支援の拠点としてさらに充実した施設運営を実施していくことを期待する。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。